

第4節 環境教育等の推進

廃棄物処理問題の多くは、大量生産・大量消費というライフスタイルに起因するところが大きいことから、廃棄物の排出抑制、再使用等について、県民を対象とした廃棄物処理施設の見学や出前講座などによる啓発等に努めることが大切です。

1 環境教育・環境学習等

【現状と課題】

(1) 施設見学、リサイクル体験

- ・ 市町村等の廃棄物処理施設では、住民にごみ処理の状況を知ってもらい、ごみの分別収集や減量化を図るとともに、ごみ処理に対する意識を高めてもらうため、積極的な施設見学の受入れや、リサイクルを体験する講座・教室を開催しています。
- ・ 施設見学等を行っている市町村は 22 市町村、出前講座等を行っている市町村は 42 市町村となっています。

表 4-4-1 市町村ごみ減量化施策取組状況（平成 27 年 5 月 1 日現在）

項目	実施市町村数
施設見学等	22
出前講座・説明会等	42

（資源循環推進課）

(2) こども記者体験（県庁見学）と長野県政出前講座

- ・ 社会見学の小学生を対象に県が実施している「県庁見学」では、「こども記者体験」のテーマを「みんなでごみをへらそうよ！めざせごみ減量日本一！」として、体験学習を通じた普及・啓発を行っています。（平成 26 年度実績：6 校、54 名）
- ・ 県内に在住・在勤・在学しているグループから依頼があった場合に、県職員が直接出向いて施策等について説明する「長野県政出前講座」では、「ごみの減量化・リサイクル、廃棄物処理」をテーマに、循環型社会に向けての法制度や廃棄物処理の現況、県及び市町村の取組、県民や事業者の方に取り組んでいただきたいことなどについて説明し、環境への理解を深めてもらっています。

(3) 環境美化教育優良校等表彰

- ・ （公社）食品容器環境美化協会は、空缶等の散乱防止・リサイクルの実践教育に優秀な成果を上げている小・中学校を表彰することにより、環境美化教育を奨励し、地域の環境美化を推進しています。

(4) 産廃夏休み親子体験教室

- ・ (一社)長野県資源循環保全協会は、子どもたちの環境を保全する心を育成する一助として、産業廃棄物の種類、量、処理の流れを実際に親子で見聞し学習する「産廃夏休み親子体験教室」を開催しています。
- ・ 水がきれいになる実験や、排出事業所、中間処理施設及び最終処分場の見学を通して、産業廃棄物処理の大切さなどを学んでいます。

(5) 長野県循環型社会推進大会

- ・ 環境問題に関する理解を深め、ごみの減量・リサイクル推進を呼びかけ、県民一人ひとりの実践活動の推進を図るため、県と信州豊かな環境づくり県民会議は「長野県循環型社会推進大会」を開催しています。

(6) 環境にやさしい買い物キャンペーン

- ・ 環境負荷の低減に資する商品やサービスの普及を図り、県民の環境に配慮した消費生活の実践を促進するため、県と信州豊かな環境づくり県民会議は「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しています。

(7) 環境保全に係るポスター及び標語

- ・ 信州豊かな環境づくり県民会議や近隣都県と連携し、3Rやごみ散乱防止などの環境保全への理解や関心を高めるため、広くポスターや標語を募集し、これらのポスターや標語を啓発活動等に活用して、県民一人ひとりの環境保全への取組を推進しています。

【施策の展開】

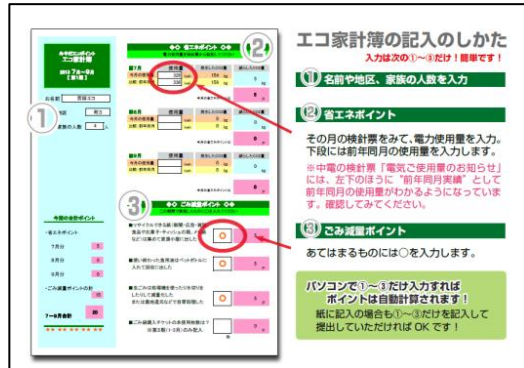
- ・ ごみの排出抑制、再使用等についての意識の向上を図るため、あらゆる年代に対する環境教育・環境学習の機会の充実に努めるとともに、キャンペーンやイベント等を通じた啓発活動を進めます。
- ・ 市町村、教育関係機関と連携し、環境等に係る持続可能な開発のための教育(E S D)の考え方等も踏まえ、児童・生徒等の次世代を担う子ども達への教育から生涯学習に至るまで幅広く環境教育・環境学習を推進します。

<<トピックス 24：宮田村における「みやだエコポイント」事業>>

宮田村では、省エネやごみの減量などをポイント化して、楽しみながらエコ活動に参加する「みやだエコポイント」事業を実施しています。

専用のポイントシート「エコ家計簿」により自己申告すると、計算されたポイントに応じて最大3,500円分（3か月ごとに20ポイントに達すると500円分、全期間の上位20人には2,000円分）の村内で使える商品券が贈呈されています。

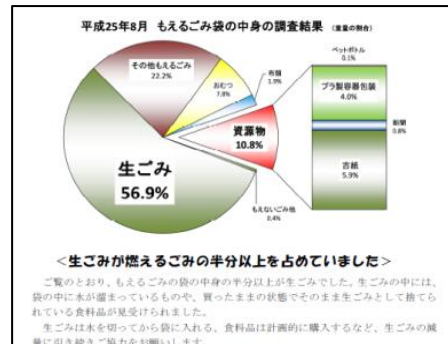
ごみ減量ポイントは、リサイクル可能な紙の回収、使用済みの食用油の回収、生ごみの水切り減量化の取組に応じて、それぞれ付与されています。



エコ家計簿の記入のしかた

<<トピックス 25：飯山市における分析データ活用の取組>>

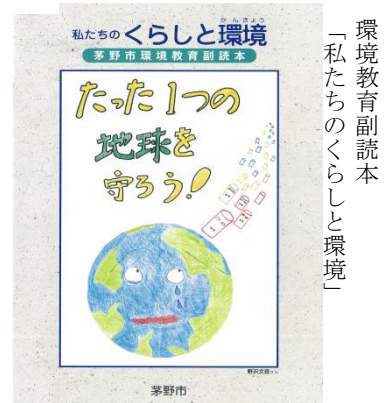
飯山市では、市民から排出される一般廃棄物について、月別の排出量や排出されたごみの種類（例・生ごみ）などの分析を行い、その情報をエコパーク寒川でのイベントなどの機会を通じて市民に公表し、廃棄物削減のきっかけとしてもらうよう取り組んでいます。



飯山市もえるごみ袋の中身の調査結果

<<トピックス 26：茅野市における環境教育への取組>>

茅野市では、市民の意見をまちづくりに反映させるため、市民と行政が一体となった「パートナーシップのまちづくり」を進めています。環境団体「美サイクル茅野」は、茅野市の美しい環境を残していくために活動している市民団体の一つで、資源物の分別収集などのごみ減量化の取組や一斉清掃などの環境美化活動を行い、さらに環境教育副読本「私たちのくらしと環境」を茅野市とともに製作し、市内の小学4年生に配付するなど環境教育に積極的に取り組んでいます。



環境教育副読本
「私たちのくらしと環境」

<<トピックス 27 : 地域での環境教育・啓発活動>>

・東御市にある(有)三井金属では、環境教育・地球温暖化対策を推進するため、家庭・小中学校・企業・NPO・行政が連携し、小中学生が家庭において省エネルギーに取り組む「Kids' ISO 14000 プログラム」に積極的に協力しています。また、小中学生の施設見学を広く受け入れています。



施設見学の様子

・上田市にある小柳産業(株)では、廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進のため、小学生の施設見学受入れ、学校・事業者への出前授業を積極的に行っています。



出前授業の様子

2 環境美化活動

【現状と課題】

(1) きれいな信州環境美化運動

- ・ 散乱した空き缶等を収集する美化清掃活動、ごみの持ち帰り運動及び空き缶等散乱防止啓発運動の輪を県民運動として広げ、観光地を含めた環境美化運動や啓発活動を推進し、年間を通じて長野県全体をきれいにする運動を展開しています。
- ・ 「ごみゼロの日」統一美化キャンペーン及びきれいな信州美化キャンペーンにおける平成 26 年度の参加者数は、約 26 万人となっています。

表 4-4-2 平成 26 年度きれいな信州環境美化運動の実績

キャンペーンの名称	「ごみゼロの日」統一 美化キャンペーン	きれいな信州美化 キャンペーン
実施期間	4月1日～6月5日	9月24日～10月1日
空缶等回収参加者数	196,869人	48,075人
回収量	208.7t	31.1t
街頭啓発参加人員	14,579人	2,240人

(資源循環推進課)

(2) アダプトシステム・愛護活動

- 平成 15 年度から「信州ふるさとの道ふれあい事業」としてアダプトシステムを本格的に実施しており、平成 27 年 3 月末現在、303 団体が道路の里親として活動しています。この取組は、以前から各地で行われてきた道路愛護活動を一歩進めた形の活動として、住民と行政の協働・連携による道路の維持管理活動の推進に大きな役割を果たしています。
- 平成 24 年度からは、花苗や必要な物品等を提供し、里親を支援していただく企業等をサポーターとして登録する制度を開始し、平成 27 年 3 月末現在、12 団体が登録しています。
- 河川についても、地域住民団体が県に登録し、「河川愛護活動」として清掃等の活動を行っており、平成 26 年度は 932 団体、延べ約 17 万 3 千人の方々が活動しています。

<アダプトシステム>

アダプトとは「養子縁組をする」という意味です。住民が道路などの公共スペースを養子のように愛情をもって面倒を見る（清掃・美化）ことから命名されました。

地域住民団体、個人、企業又は学校が道路の里親となり、里親・市町村・建設事務所による三者協定に基づいて、里親はボランティアで美化活動等を実施し、市町村・建設事務所は里親の活動を支援します。

【施策の展開】

- 県及び市町村は、県民が一体となっておみの散乱のない美しい環境づくりに取り組み、ごみの排出抑制、適正処理等について意識の向上を図るため、観光地も含めた環境美化活動、啓発活動等を推進します。

〈〈県民の皆様に：～環境教育等の推進～〉〉

- ・ 地域等で行われる環境美化活動に参加しましょう。
- ・ 環境イベント等に参加し、地球環境保全の意識を高めましょう。
- ・ より環境負荷の少ないライフスタイルに協力しましょう。

